

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

26年6月13日

大分県知事 広瀬勝貞 殿

提出者

住 所 大分県竹富市山香町久木野尾263403

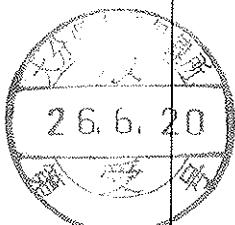
氏 名 小 原 真 美

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	小原牧場
事業場の所在地	竹富市山香町久木野尾263403
計画期間	H25.4.1 ~ 26.3.31
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	乳牛 成牛 86 育成 45
③従業員数	4人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	ふん尿 自然堆肥化 死体 処理業者へ委託



(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（平成25年度）実績】

産業廃棄物の種類	牛のふん尿	牛の死体
排出量	2115 t	3 t

①現状

(これまでに実施した取組)

【目標】

産業廃棄物の種類	牛のふん尿	牛の死体
排出量	2115 t	3 t

②計画

(今後実施する予定の取組)

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	牛のふん尿	
①現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	2115 t	t
(これまでに実施した取組)			
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛のふん尿	
②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	2115 t	t
(今後実施する予定の取組)			
堆肥化			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	牛のふん尿	
①現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	1500 t	t
(これまでに実施した取組)			
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛のふん尿	
②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	1500 t	t
(今後実施する予定の取組)			
堆肥化			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（平成25年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
<i>なし</i>				
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t	t
(今後実施する予定の取組)				
<i>なし</i>				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（平成25年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	牛のふん尿	牛の死体	
	全処理委託量		t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t	t
	再生利用業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t
(これまでに実施した取組)				
<i>動物の死体は化製場に処理してもら ふん尿は13tの畑に肥料として使う</i>				

【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	牛のふん尿
	全処理委託量	t 3 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t t
	再生利用業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t t
	(今後実施する予定の取組)	
	動物の死体は化糞場に処理してから ふん尿は13haの肥料として使う	
※事務処理欄		